

平成28年度第4回渋川市総合教育会議 議事録

I 開催日時

平成29年2月22日（水）午後3時開会 午後4時35分閉会

II 開催場所

渋川市役所本庁舎大会議室

III 出席者

【構成員】阿久津貞司市長、太田大森教育委員長、池田由美子教育委員長職務代理者、高橋秀和教育委員、新井光久教育委員、後藤晃教育長

【市長部局】田中副市長、佐久間総務部長、愛敬企画部長、高橋保健福祉部長、笹原企画課長、後藤スポーツ課長、内田こども課長、ほか事務局職員3名

【教育委員会】田中教育部長、橋爪教育総務課長、名塚学校教育課長、綿貫学校給食課長、石田生涯学習課長、小林文化財保護課長、ほか担当職員2名

【傍聴者】 8名

IV 会議の概要

1 開会

企画課長	みなさんこんにちは、本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。 皆様お揃いでありますので、ただいまから平成28年度第4回渋川市総合教育会議を開催いたします。申し遅れましたが私は、司会を務めさせていただきます企画課長の笹原と申します。よろしく願いいたします。 はじめに、阿久津市長からごあいさつを申し上げます。
------	--

2 市長あいさつ

阿久津市長	－ あいさつ －
企画課長	続きまして、太田教育委員長からごあいさつをお願い申し上げます。

3 教育委員長あいさつ

太田教育委員長	－ あいさつ －
---------	----------

4 議題

議題(1)「平成29年度渋川市予算内示内容について」 議題(2)組織機構に見直しについて	
企画課長	ありがとうございました。 それでは、議題に入らせていただきます。 渋川市総合教育会議設置要綱の規定によりまして、このあとの進行につ

きましては市長にお願いいたします。

阿久津市長

それではしばらくの間、議長を務めさせていただきます。
早速ですが、議題に入らせていただきます。

「議題（１）「平成２９年度予算内示内容について」と議題（２）組織機構の見直しについて」は関連がありますので、一括議案とさせていただきますがよろしいでしょうか。

各委員

異議無し。

阿久津市長

それでは、事務局から、説明をお願いします。

●【総務部長説明】 【資料No.1】

阿久津市長

説明が終わりました。

本日、議題としている、平成２９年度の予算（案）と組織機構の見直しについては、２月２０日に開催した予算内示会において、議員をはじめ報道機関へ情報を提供しています。

本日は、教育委員会の皆さんに、教育関連の内容について説明させていただきましたので、事業内容や予算について、ご質問やご意見をお伺いしたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

新井委員

私からは、給食費完全無料化について発言させていただきます。保護者の立場から給食費の完全無料化は、大賛成させていただきます。市長がよく提唱している「子育てするなら渋川市」との渋川市のアピールにもつながって行くと思いますし、人口増への期待がかかる大事な視点かと思いません。給食費が完全無料化になれば、その給食費分のお金が家庭に残り、その分が消費活動に使われ、地域経済の発展にもつながることに期待が持てるのではないかと感じています。

ただ、継続的な財源の確保の課題もあるので、国の施策として行っていたきたいとも感じますので、みどり市や渋川市から国への働きかけなども行っていいのではないかと思います。

今後も、総合教育会議で建設的な意見交換をさせていただきたいと思しますので、よろしくをお願いいたします。

阿久津市長

ご意見ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

高橋委員

平成２９年度予算案ですが、教育関係にご配慮いただきありがとうございます。

私からは２点ほどお伺いさせていただきます。１点目は、渋川すこやかプラザの管理、その運営についてその需要の見通しなどについて説明をお願いします。もう一つは、総合型スポーツクラブの予算説明で、個人会員で５００人、団体２０団体との想定数がありますが、この根拠と設立の説明会を開催するとの広報で周知していたと思いましたが、その辺の反応について伺えればと思います。

こども課長	<p>すこやかプラザ管理事業について説明させていただきます。この事業は、総合病院跡地を活用して子育て支援事業の充実と多世代の交流を深めることを目的としております。現在、坂下町にある子育て支援施設を移転し、充実していくことと屋内遊具施設と園庭を設置しまして、子育て世代の親子が交流しやすい環境を整備します。また、多目的ホールを利用して、高齢者の健康教室にパース大学の学生が指導するなど多世代が交流する事業を展開していこうと考えております。</p> <p>渋川すこやかプラザの中の地域子育て支援総合センターの役割ですが、これまでの子育て支援センター事業の充実や市役所第二庁舎1階にある子育てコンシェルジュなどを移設してより相談体制を充実していきます。また、ハローワーク就職案内のほか、内職案内などの窓口も設けていく予定です。</p> <p>需要については、現在、子育て支援センターに訪れる方は、年間約7,000人いますが、移転後は屋内施設を整備やイベントを開催しますので、多くの方に訪れていただけるよう環境を整えていきたいと考えております。</p>
スポーツ課長	<p>スポーツクラブ会員数の根拠について説明させていただきます。渋川スポーツクラブ設立委員会が平成28年11月29日に設立しました。これに伴い、規約や予算等を調整するため、総務専門部会、会員専門部会、広報部会、事業専門部会の4部会を発足しました。それぞれ役員会は6回、準備委員会は3回開催しております。その中で、平成29年度の目標値として設定しております。広報活動については、3月1日号の広報に全戸配付のチラシによる周知を行う予定になっております。</p>
阿久津市長	<p>このほかいかがでしょうか。</p>
池田委員長 職務代理者	<p>先ほど高橋委員の質問やこども課長の回答に関連しますが、渋川すこやかプラザの管理事業についてです。高齢者との交流や子育て世代への相談内容の充実するとのことですが、これらにパース大学の支援をいただくとのお話がありました。</p> <p>4月からパース大学が開設されますが、学生さんが通われるとのことでも市の活性化にもつながることはもちろんですが、先ほどこども課長の説明にあったように学校と地域の連携がより強く図られると思っています。</p> <p>学校がこの地にあることによって、市の事業を支援することで学校側が地域に貢献できると同時に、学生においても学習や研究、職場体験などに役立つと思われれます。市民側においても、専門家による体力測定、健康指導が受けられて市民にとっても体力向上、健康増進につながると思います。</p> <p>本市では、上武大学や群馬大学との連携をすすめておりますが、パース大学の専門学校が地元設置されたことは、大きなメリットになると思っています。学校の連携、協力は渋川市にとって大いに期待できると思っています。</p> <p>ぜひ、渋川すこやかプラザとパース大学との連携、協力をお願いしたいと思います。</p>
保健福祉部長	<p>池田委員からのお話のとおり、パース大学と連携は市にとって大変有益だと思っています。すこやかプラザの運営にあたりまして充実が図れる</p>

ようにしっかり連携していきたいと考えております。

池田委員長
職務代理者

よろしく申し上げます。

阿久津市長

ほかにありますか。

後藤教育長

私からは教育委員会の事務局をあずかる立場として、また、予算編成に係わった者としての立場を踏まえまして、発言させていただきます。なお、予算については、内示会で示されましたが、市議会の議決を経て4月以降に執行していくわけですが、4月の初旬には教育全体集会を開催し、全校の教職員に集まってお話し、新年度の教育方針等を示していくこととなります。そこで、平成29年度の予算編成についての考え方を周知して行きたいと考えております。

心構えを含めまして発言させていただきます。教育費の新年度予算については、前年比で△14.7%となっていますが、近年のハード事業予算で増減する傾向があります。教育振興の予算は、人づくりの予算でもありますことから、長期的、安定的な予算措置がされることが望ましいと考えております。この点につきましては、市長のあいさつにありましたとおり「教育するなら渋川市」とのことで、ご理解頂いていると考えております。議会の議決後、4月以降に予算の執行をしていくわけですが、次の点を特に進めていきたいと考えています。

本市には、明治の大合併の前には47村が存在しておりました。現在の自治会数では108ありますが、その約半分の村が存在しておりました。その各村において、特色ある地域の文化があり、合併後においてもその文化を統合すべきとは考えていません。それぞれ後世に伝えていっていただきたいと考えています。その過程において、子どもたちに積極的に諸事業に参加させたいと考えております。学校の先生方にも地域の文化、伝統を大切に扱ってほしいとお願いしております。それから、親子文化財ツアーも組んでおりますが、家庭での教育力の向上と合わせて、地域の文化財を知ってほしいとのことで、このような事業により推進していきたいと考えております。

さらに、近年の障害者福祉関連制度が変化しておりますが、特別支援教育の充実においては、かなり踏み込んだ予算になっております。特に重度の肢体不自由児については、保護者の意向に沿った対応、発達障害児等への支援の予算措置がされています。制度の趣旨に則って、子どもたちにとって必要な教育が受けられるような体制を構築していきたいと思っております。さらに、子どもたちの読書活動の重要性を認識いたしまして、渋川市子ども読書推進計画を踏まえた取組として新年度図書費の増額を行い、読書の推進を図って行きたいと考えております。

阿久津市長

ありがとうございました。ほかに何かございますか。

池田委員長
職務代理者

特別支援教室の充実において、特に予算を計上していただいておりますが、渋川市全体の子どもの学力を付けようとするための予算化は、ありがたく思っております。

資料の9頁、No.236の「きめ細かな指導充実事業」とNo.241「特別支援教育支援員配置事業」ですが、昨年度からきめ細かな指導充実事業であじさいプランを設定いたしました。こちらは、学校訪問においても校長先生から大変有効であると聞いています。来年度は、2つの小学校が統合されるため、9名が配置されるとのことですが、特別支援教育支援員の配置においても多くの予算をとっていただいたことは、教育をあずかる身として、ありがたいなと思っています。先生方の多忙化の解消と同時に、子どもたちに向き合える時間が増えることによって、先生方自身が一層、児童・生徒の理解につながるので、これらの事業を継続し拡充していただきたいと思っています。

渋川市における学校教育環境の整備は、大変先に進んでいると思っています。スポーツコーディネーターの導入、特別支援員の配置、スクールカウンセラー、また、部活指導のスタッフなどを適宜開始して、多様な人材が学校に参画しています。まさに、今後の学校のあり方として求められているチームとしての学校、そのようなものが機能しつつあるのではないかと考えています。

これまで以上に、学校側のマネジメント強化の課題はありますが、まずは、このような事業を展開することが必要と考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

学校教育課長

文部科学省をはじめとして、チーム学校として学校の体制を整えて、子どもたちに学ぶ時間を充実させてくださいと言われてしています。

こうした中、知識、技能はもちろんのこと、子どもたちの学ぶ意欲に着目して、よりきめ細かな指導が行えるような体制を整えています。

また、支援員については、重度の子どもへの障害への対応、一人一人の教育ニーズに対応するための充実を図っています。また、運動面については、子どもたちの体育に対する意欲の向上、あるいは、運動好きな子どもたちにスポーツコーディネーターを派遣しながら子どもたちの意欲の向上を図っていきます。こうしたことでトータル的に、チーム学校として子どもたちのために学校が機能するように予算編成をさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

阿久津市長

渋川市においては、群馬大学の学生をスポーツコーディネーターとする事業を導入して5年目になりますが、相当効果が出てきていると思っています。先日、県のなわとび大会があったようですが、渋川市の小学校がベスト10の内に5校が入ったそうです。渋川南小学校が1位で、子どもの少ない学校が頑張ったということのようですが、豊秋小学校が3位に入り、三原田小学校は5位になったようです。若い先生が指導にあたり、子どもたちにスポーツを楽しませることが上手なのかなと期待をしており、いい方向に向かってくれればと思っています。

また、スポーツクラブですが、39人が日本体育協会のスポーツ指導員の資格を取ったということです。これからはこうした方々が、中学校の外部指導者として入ってくると思います。実は、この外部指導員やスポーツコーディネーターを学校に導入しようとした当初は、応募数はあまり多くない状況でした。このときは、北京オリンピックのソフトボール競技の金メダリストの指導を受けたりしました。事業も2年目になると、応募

校の数も増えましたが、そうしたら、国の10分の10の補助金が無くなってしまったので、補助率が減っても市の独自事業として継続して実施して欲しいとの要望があり、予算を確保し、講師派遣を継続しております。

先ほど先生の雑務が多いとの話がありましたが、先生の本来の仕事であります子どもたちへの指導がおろそかにならないよう、とりわけ外部指導員やスポーツコーディネーターによってスポーツ面で先生方に協力、支援をして、より子どもたちに目が向けてられるようにと対応させていただいております。スポーツができるようになると、成績も上がるとも聞いております。

子どもたちは、渋川市の宝ですので、しっかり教育での支援をしていきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

太田教育委員長

私からは最後に、次の議題の小中学校の再編にも係りますが、地域の活性化を考慮した、更なる住みよい地域づくりをお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

阿久津市長

ありがとうございます。

では、予算内示内容については以上とさせていただきます。

議題(3)「渋川市小中学校の再編に関する長期的な方針に基づく取組について」

阿久津市長

つづきまして、議題(3)「渋川市小中学校の再編に関する長期的な方針に基づく取組について」に入ります。

事務局の説明をお願いします。

●【教育部長説明】 【資料No.2】

阿久津市長

ただいま教育部長から説明がありました。この渋川市小中学校の再編に関する長期的な方針について、みなさんからご意見がありましたら、よろしく願いいたします。

高橋委員

長期的な方針の中に学校が無くなることで、地域コミュニティーが衰退するのではないかと声が上げられています。そのことについて、昨年秋に小野上地区文化フェスティバルに行って感じたことをお話しします。

今年度、小野上中学校と子持中学校が統合されて、小野上地区は、中学校が無くなりました。ですが、元小野上中学校の生徒が頑張っているとの報告を度々受けており、よかったなと思っています。そのような中、小野上地区文化フェスティバルの案内をいただいたので、中学生の参加状況などが気になり伺いました。さすがに、中学生のステージ発表は無かったですが、絵画などが出展されていまして。地元の方に伺ったところ、中学生が参加してくれてよかったと言っており、ほっとしました。主催者や公民館の働きかけにより、子持中学校がしっかり対応した結果だと思っています。

本年度は、赤城地区で小学校が2校無くなりますが、教育委員会としては、地域に配慮しながら、地域がより元気になるように協力していかなければいけないと感じましたので、私の意見として話をさせていただきます。

た。

阿久津市長

ありがとうございました。ご意見ということでお伺いしました。
統合により文化のシンボルでもある学校が無くなることの影響を我々も心配しております。
ただ、教育環境の整備を推進する中で考えた時に統廃合は、やむを得ない選択肢の一つと考えております。
刀川小も南雲小も統合しますが、地域においてどうやって文化を残すかが、大変重要になりますので、自治会長さんをはじめ地域の方と連携をとりながら、しっかり取り組んで行きたいと考えています。
市においては、地域の伝統文化、芸術、特殊技能などを持つ方々を認証し支援するため、マイスター制度の立ち上げを教育部と商工観光部で調整をしています。マイスター制度で地域の文化に根ざした立派な方を掘り起こして、子どもたちに歴史をはじめとしたいろいろな面で指導をしてほしいと思っています。ほかにありますか。

池田委員長
職務代理者

渋川市域において、地域格差のない教育の実現が、学校の統合再編だと思えます。先ほど市長のお話にあったマイスター制度によって、地域に埋もれた文化や歴史などを子どもたちに吸収してもらいたいという方針が出されておりますが、全市において地域活性化の観点から、特に閉校する学校のある地域の活性化のため、人材の活用を含めてた施設の利活用について教育部局だけでなく、市長部局からも協力支援をお願いしたいと思えます。学校に代わるコミュニティーの核となるものが、地域にあれば活性化にもつながりますので、ぜひ、全市的に考えていただければと思っております。

阿久津市長

市は、蘇活力ということで、眠れる資源、眠れる人材、これを活かして蘇らせていくことに取り組んでおります。これは先ほどの地域での人材や文化を消滅させないためには、いろいろと難しい部分もありますが、地域の方と連携をして行きたいと思っております。渋川市のいい文化を残していきたいと思えますし、重要なことです。行政連携をしっかりと取りながら、取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

高橋委員

先ほどのお話とかぶるかもしれませんが、保護者の立場として一言お話しさせていただきます。
学校が統合や再編されて無くなってしまうのは、避けて通れない道かなと思えます。そこで大切なのは、子どもたちの健やかな成長や安全で安心な学習環境であり、こうしたことを確保してほしいと思っております。
学校が無くなるのは寂しいことですが、マイナスをプラスに転じるには、先ほど教育長のお話にあった地域のお祭りや文化事業が学校に代わる、つながるものとして活かせるように考えて行きたいと思えますし、心の働きかけをすることによって、子どもたちが郷土愛を持ち、育んでいくようにつなげて行きたいと思えます。
親としても一人を大切にしながら、地域、家庭と学校の連携を大切に、更に地域で子どもたちを育て、人間力を培わせてあげようという思いもって建設的な議論を進めて行きたいと思っておりますので、よろしくお願ひ

阿久津市長	<p>します。</p> <p>地域の文化は、みなさんのおっしゃる通り重要です。市として伝統文化や文化財保護の立場から、いろいろと連携方法について研究していきたいと思っております。</p> <p>ほかにございますか、</p>
後藤教育長	<p>この長期的方針については、外部委員にも入っていただき十分議論し、事務局においても議論しております。基本的な考え方として、よりよい教育環境の実現と地域の合意形成の2つの重要項目を挙げました。これがどう両立できるか、難しい点があると思います。地域の特性はそれぞれ異なっていますので、答えは一つではないとの認識で、教育委員相互の情報共有、あるいは意見を出し合い、そして地域のご意見を一つ一つ汲み上げる作業をしていきますが、必ずしもくみ上げるルートを決める必要はないと思います。また、地域の特性に配慮しながら、新井委員からお話のあったとおり、教育委員会としてもしっかりと議論していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
阿久津市長	<p>先日、市内県立高校5校の校長先生にお会いしましたが、高校の統廃合が始まりまして、中之条高校と吾妻高校の統合、東毛の桐生地域でも統合の計画があるようです。そのような中、渋川市内の高校においては、統廃合の話は出ていないようですが、市としては、小中高で連携がとれればよいと思っています。</p> <p>渋川は、生徒が集まるにはいい地域ですので、高校と支援学校を合わせて5校を守りたいなと思っております、校長にはできる限りの支援をしますと話しています。小中高一貫校のつもりでやっていければと思っております。</p> <p>ほかになにかございますか。</p> <p>無いようですので、「渋川市小中学校の再編に関する長期的な方針に基づく取組について」の議題は以上とさせていただきます。</p>

5 その他

(1) その他	
阿久津市長	<p>その他に入ります。</p> <p>みなさんから何かあれば、お願いします。</p>
太田教育委員長	<p>私から、今年度最後の会議ですので、本市における青少年健全育成事業の推進に関することをお話させていただきます。本年2月2日に開催の青少年問題協議会の折、市青少年センターの活動報告がありましたが、現在、渋川市管内は他の地区に比べて、青少年の非行関連の犯罪が非常に少なく、落ち着いているとのことでした。これは、本市における青少年健全育成事業の推進について、青少年問題協議会を柱として、学校家庭地域三者連携事業をはじめとしての青少年センターの各種事業、相談や環境浄化活動、健全育成啓発等がありますが、健全育成の諸事業の充実強化に向けて、関係団体と各機関が非常に連携して市を揚げて推進しているから成果が出ていると感じています。PTAをはじめ、子育て連、青少推婦人会、あるいは</p>

体育協会、民生委員・児童委員、母子会等たくさんあります。その中で保護司関連の話をさせていただきたいと思います。

私は現在、渋川北群馬の保護司をやっていますが、該当者がいません。渋川市管内での該当者は、18名で青少年関係は非常に少なく3件と聞きました。渋川北群馬地域の保護司の定員は55名ですが、56名いるそうです。他の地区は、保護司になることを敬遠されて定員割れになっているそうです。このことを見ても、よい地域にしていこうという地域の方の意気込みを感じられると思いました。一例を紹介しますが、渋川北群馬保護区保護司会と更正保護女性会では毎年、社会を明るくする運動月間などで、全中学校2年生を対象に非行防止や薬物乱用防止、健全育成の話合い交流会を行っております。その中でインターネットを安心安全に使うための標語「おぜのかみさま」や引きこもり対策のビデオ観賞などを実施しています。この活動は県内どこでもやっているものではありません。この事業は、保護司会がいくらやる気があっても学校側の協力がなければできませんが、学校側は、忙しい時期にもかかわらず、本当に協力していただき実施してきました。この長年の学校との連携事業が認められまして、数年前に群馬県では初めての顕彰を受賞しています。また、第66回の社会を明るくする運動の作文コンテストの中央推進委員会優秀賞これは、全国で第2位になりますが、この賞に古巻中学校3年生の生徒さんが受賞しました。内容は地域と共に生きるというテーマで素晴らしい作品でした。学校の帰り道に地域のおじいさんと出会い、会話を通して気がついた地域の交流が生んだ暖かさを綴ったものでした。作文力もすごいです。生徒が住む渋川市地域の土壌がこの作文を書いたのかなとも思いました。このほか、県の作文コンテスト表彰では小学生では優秀賞が1人、特別賞が3人、中学生では特別賞が2人受賞しています。

私は、長く学校教育に携わっていますが、青少年の健全育成は、学校教育だけでは、絶対不可能だと思っています。学校では、社会教育を補完することが大事と思いますが、各者連携することはよく耳にします。形式的にやっているところは、いっぱいありますが、本市のように学校教育と社会教育がうまく連携して、青少年健全育成や非行もなく落ち着いた地域となっているのは、本当にうれしく、ありがたいことだと思っています。

この素晴らしい成果を、青少年健全育成活動を学校教育と連携しながら着実に進めていくことが、何より大事なかなと思っています。

今年度最後の総合教育会議でしたので、改めてお話させていただきました。貴重な時間ありがとうございました。

阿久津市長

ありがとうございました。

スポーツコーディネーターや外部指導員など、渋川市はスポーツの分野から取り組みを行って行きました。外部の方が入ってくると拒否反応を示すようなこともあります。先生方も忙しく、スポーツに目が届かないところがあり、タイミング的にうまくいったのかなと思っています。

子どもたちは渋川の宝ですから、宝なりにしっかりと予算を付けて育てていく、ほかの市町村のまねをするのではなく渋川方式でいい、教育も渋川方式でいいと思っています。

私の夢だったのですが、子どもたちの渋川ブランドです。渋川の子どもならうちの会社には是非来てほしいと言われるような、誰が見ても気が付く

	<p>し、勉強だけではなく、徳のある人間を育てられれば、どこに行っても通用するし、どこに行っても仕事をして通用する人間が育てられれば、生きていける、生きる力を持たせるのが教育だと思っています。</p> <p>紆余曲折し、教育委員へ迷惑をかけたり、市民の皆さんからお叱りを受けることもあるかと思いますが、しっかりと教育には力を入れ取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。</p>
阿久津市長	事務局から何かありますか。
企画課長	来年度の総合教育会議開催予定について連絡させていただきます。
	<p>●【企画課長説明「平成29年度総合教育会議開催予定について」】</p>
阿久津市長	<p>ほかにありますか。</p> <p>無いようでありますので、以上をもちまして、本日の議題については、全て終了いたしました。</p> <p>これで議長の座を降ろさせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
6 閉 会	
企画課長	<p>以上をもちまして、平成28年度第4回渋川市総合教育会議を閉会とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>